

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム
平成 31 (2019) 年度「職域・地域架橋型-価値に基づく支援者育成」
精神領域高度ピア人材[ピアサポートワーカー研修生]養成コース (D) 募集要項

1. プログラムの目的及び内容

患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる人材を育成する。

Co-production (当事者と回復を共同創造できること)、

Trauma-informed care (トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたること)、

Organizational change (これらの理念を実践できるよう組織を変革すること)、

をコアとなる素養と位置づけ、これらを身につけるよう、実践的な学習を深める。

上記の三つの素養の獲得を通じて、患者の価値にもとづく支援 (value-based service) を行う能力が身につく。

また所定の講義受講、実習を修了した際に授与される履修証明により、患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる高度な医療人材であることを客観的に明らかにすることができる。

精神領域高度ピア人材[ピアサポートワーカー研修生]養成コースは、当事者に共感を示し価値に寄り添うことで、主体的意思決定をサポートできるピアサポートワーカーを育成することを目指す。

2. 応募資格

①②の双方を満たす方

①高等学校を卒業した方、または高校卒業者と同等以上の学力を有すると認められた 18 歳以上の方

②精神障がいをもち、医療、福祉などの領域でピアサポートワーカーを目指す方

いずれのコースも、精神疾患を持つ当事者の支援にかかわる見学や実習を伴うため

プログラム履修にふさわしい意欲や能力、倫理的姿勢について書類や面接等で選考を行う

3. 募集人員

各年度 2 名

4. 受講期間

2019 年 4 月～2020 年 3 月 (初回講義は 5 月～)

5. 開催場所

東京大学本郷キャンパス・医学部附属病院内会議室 (文京区本郷 7-3-1)

6. 受講内容

ピアスタッフ養成講義 (計 20 時間) として、ピアサポートやリカバリーの理念を基盤とした新しい支援に関する講義 (自身のリカバリーの体験や困難の開示の仕方、リカバリーストーリー、Recovery focused language、自身のセルフマネジメントについてなど) および精神医学入門講義 (医療現場でのコミュニケーション・ロールプレイ、精神保健福祉法と退院支援、リハビリテーションなど) を行う。また、外来・病棟における実習 (平日週 2 日程度、1 か月) を中心とした多職種協働実習 (計 50 時間)、およびデイホスピタル・リカバリーセンターにおける実習 (平日週 2 日程度、1 か月) を中心とした地域連携実習 (計 50 時間) を行う。これらの実習においては、シニアピアサポートワーカーからスーパービジョンを受けるとともに多職種での振り返りを行う。

※少人数制 (募集 2 名) であることから、研修生の希望や都合により、授業や実習の曜日は柔軟に対応する。

7. 出願書類

(1) 履歴書 (書式自由)

(2) 小論文 1200 字以内 (志願理由及び「ピアスタッフに関する課題と展望」)

8. 出願先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F TICPOC 事務局

9. 出願期限

2019年4月15日（月）（随時1次選考・2次選考を実施）

10. 選考方法

1次選考：履歴書、志願理由書等の書類審査により選考する。

2次選考：面接により選考する。

11. 選考発表及び受講手続き

平成31年（2019年）4月30日。

選考の結果を同日中に電子メールにて通知する。

受講を認められた方には関係書類を送付する。

12. 受講料

無料。

※所定の受講料1.5万円/日（学生は0.8万円/日）にてコースCの講義を単回受講することができ、履修時間として算定することが可能。

13. 問い合わせ先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F TICPOC 事務局

TEL：03-3815-5411（内線:33617）

E-mail：utokyo.co.production.training@gmail.com

URL：http://co-production-training.net/

14. その他

採用者決定後、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。応募書類は本応募の用途に限り使用し、こちらで責任をもって廃棄させていただきます。